

飼い主のいない猫の減少へ向けての本市の対応について

最近の犬や猫などのペットの飼育状況は、家族同様に愛情を注ぎ、旅行や食事など行動を共にすることも多くなっています。

一方で、飼い主が社会のルールを守らず、不適切な飼育により周辺住民とのトラブルが発生するなど、その状況は必ずしも良好とはいえない面も見られます。

このような状況の中、予定しない繁殖等による、飼い主のいない猫の保健所への引取依頼はまだまだ少なくなく、その減少を図ることは、動物行政を推進していく上での重要な課題の一つです。

1 猫に関する苦情について

平成 23 年度の市内の猫に関する苦情内容件数は 3,559 件と多く、その 9 割近くが飼い主のいない猫（野良猫）を原因としており、近年は同様の傾向が続いています。

猫による苦情の推移

	苦情数	苦情の内訳				飼い主のいない猫が原因の苦情の割合
		糞尿・臭気	収容相談	器物の損壊	その他	
平成21年度	3,703 件	1,583 件	1,137 件	262 件	721 件	87.6%
平成22年度	3,348 件	1,537 件	985 件	213 件	613 件	85.9%
平成23年度	3,559 件	1,500 件	1,062 件	107 件	890 件	88.8%

猫に関する苦情は、公園の砂場や庭の芝生への糞尿の被害、車に傷を付ける、植木鉢を壊すなどの器物の損壊、縁の下で子猫を生み放置された（収容相談）、その他に繁殖期の深夜の鳴き声などで、地域の環境問題にもなっています。

苦情の原因となるのはほとんどの場合飼い主不明猫ですが、飼い猫であっても飼い主が放し飼いをしているため、苦情の原因になることもあります。

苦情を減らすためには、飼い主のいない猫を減らすことや飼い猫の室内飼育等、適正飼育の普及啓発が必要です。

2 飼い主のいない猫の減少に向けての本市の対応について

(1) 猫の不妊去勢手術推進事業（手術費用の一部助成）

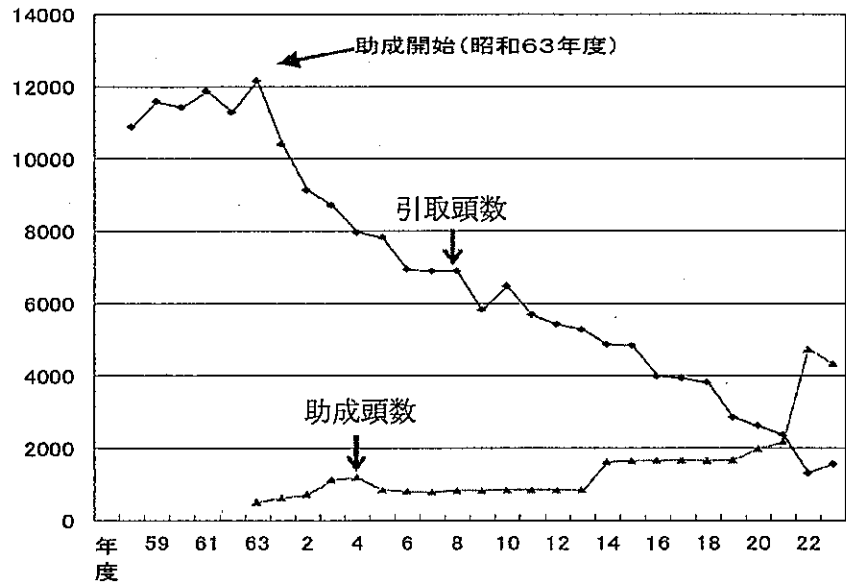
本市では、昭和 63 年度から横浜市獣医師会と協働で猫の不妊去勢手術の費用を一部助成しており、順次規模を拡大しながら継続しています。

助成頭数と引き取り頭数の推移

事業の継続と助成頭数の増加により、顕著に引き取り数の減少が見られ、本事業の効果の表れと考えています。

今後もこの事業を、本市の飼い主のいない猫の減少に向けた対策の柱として推進していきます。

また、本市では猫の室内飼育を推奨し、その啓発を行っていますが、依然としていわゆる「放し飼い」をする飼い主もおり、また、不妊去勢手術の実施率も高いとは言えないため、飼い猫の不妊去勢手術もあわせて推進していく必要があります。



平成 24 年度 猫の不妊去勢手術推進事業 事業内容

助成頭数	4,400 頭
助成額	飼い猫 4,000 円 (本市 3,000 円 獣医師会 1,000 円) 野良猫 6,000 円 (本市 5,000 円 獣医師会 1,000 円)

【参考】動物病院での不妊去勢手術料金の目安

猫		犬	
オス	メス	オス	メス
10,000～ 25,000円程度	15,000～ 30,000円程度	15,000～ 30,000円程度	20,000～ 40,000円程度

(2) 地域猫活動

平成 22 年に環境省が策定した『住宅密集地における犬猫の適正飼養ガイドライン』で、猫による苦情を減らす方法として「地域猫活動」が紹介されています。

『住宅密集地における犬猫の適正飼養ガイドライン』抜粋

地域猫とは地域の理解と協力を得て、地域住民の認知と合意が得られている特定の飼い主のいない猫を、その地域に合った方法で飼育管理者を明確にし、飼育する対象の猫を把握するとともに、エサや糞尿の管理、不妊去勢手術の徹底、周辺美化など地域のルールに基づいて適切に飼育管理し、これ以上数を増やさず、一代限りの生を全うさせる猫を指します。

本市では、地域のボランティアを中心に磯子区など4区で、地域の理解・協力を得て地域猫活動を実施したケースがありました。その中の1事例では、地域にいた猫15頭に不妊去勢手術を実施し、えさやりや猫トイレの設置等のルールを定めて地域で世話をした結果、7年間の活動で猫がいなくなったとの報告を受けています。

また、この4区以外にも、地域猫活動が実施できる候補地域があると聞いておりますので、国のガイドラインに沿った方向での行政支援を今後検討していきます。

3 動物愛護センターでの譲渡不妊去勢手術について

動物愛護センターでは、収容される動物の数を減らし、できる限り譲渡を進めることを目標に掲げ、譲渡する犬・猫については不妊去勢手術及びマイクロチップの装着を行っており、平成23年度は犬62頭、猫110頭に不妊去勢手術を実施しました。

平成23年度 譲渡及び不妊去勢手術の実施状況

	犬			猫		
	1 譲渡 実施数	2 不妊去勢 手術実施数	1と2の差	1 譲渡 実施数	2 不妊去勢 手術実施数	1と2の差
個人譲渡	26	18	* 1 8	66	48	* 1 18
団体譲渡	96	37	* 2 59	98	39	* 2 59
獣医師会譲渡	-	-	-	228	0	* 3 228
未譲渡	0	7	-	0	23	-
小計	122	62	67	392	110	305

* 1 すでに手術実施済み、高齢等で手術を実施できなかった、公示期間終了後すぐに第一発見者へ譲渡したなどです。

* 2 譲渡後の手術の実施状況は、報告書により確認しています。

* 3 獣医師から飼い主へ不妊去勢手術の必要性について啓発しています。